

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【公開番号】特開2009-63650(P2009-63650A)

【公開日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-012

【出願番号】特願2007-229175(P2007-229175)

【国際特許分類】

G 03 G 21/20 (2006.01)

【F I】

G 03 G 21/00 5 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

感光体と、

前記感光体上にレーザ光を照射し、前記感光体上に潜像を形成する光学ユニットと、
前記感光体上の潜像を現像して形成された画像が定着されたシートを積載する排出トレイと、

を有する画像形成装置において、

前記光学ユニットと前記排出トレイとの間に配置された第一温度検出手段と、

前記第一温度検出手段よりも前記排出トレイから離れた位置に配置された第二温度検出手段と、

前記第一温度検出手段及び前記第二温度検出手段の出力に基づいて前記レーザ光の照射位置の変動による色ずれを抑えるようレーザ光の照射位置を制御する色ずれ制御手段と、
を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記色ずれ制御手段は、前記第一温度検出手段及び前記第二温度検出手段の出力に基づいて前記光学ユニットのレーザ光を照射するタイミングを制御することを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記排出トレイと前記光学ユニットの間に、前記排出トレイに排出されるシートの幅方向と略平行に流れるエアフローを有し、

前記第一温度検出手段は、前記幅方向に関して前記排出トレイの中央よりも、前記エアフローの下流側に配置されることを特徴とする請求項1又は2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記画像形成装置は、幅方向の長さがW1のシートからW2(W2>W1)のシートに
画像形成可能であり、

前記第一温度検出手段は、前記幅方向に関して、前記幅方向の長さがW1のシートが積載される位置よりも外側で、且つ前記幅方向の長さがW2のシートが積載される位置よりも内側に配置されることを特徴とする請求項1又は2に記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0011

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0011】

前記目的を達成するための本発明に係る代表的な構成は、感光体と、前記感光体上にレーザ光を照射し、前記感光体上に潜像を形成する光学ユニットと、前記感光体上の潜像を現像して形成された画像が定着されたシートを積載する排出トレイと、を有する画像形成装置において、前記光学ユニットと前記排出トレイとの間に配置された第一温度検出手段と、前記第一温度検出手段よりも前記排出トレイから離れた位置に配置された第二温度検出手段と、前記第一温度検出手段及び前記第二温度検出手段の出力に基づいて前記レーザ光の照射位置の変動による色ずれを抑えるようレーザ光の照射位置を制御する色ずれ制御手段と、を有することを特徴とする。